



ちよだで学ぶ2023 - 知ると未来が楽しくなる -

公開期間 2023 12 / 1 (金) 10:00 ~ 2024 1 / 23 (火) 16:00

※オンデマンド講座

ウィキペディアを通して地域と関わる
——百科事典の一つの未来



あなたの地元にある趣きのある神社。インターネットで検索してみると、ウィキペディアの記事が見つかりました。この記事、誰が書いているのでしょうか？ ウィキペディアは誰でも記事を書き、編集することができるオープンなオンライン百科事典です。あなたの地元の神社の記事も、誰か特別な人が書いたわけではなく（その可能性もありますが）、普通の誰かが書いています。そしてあなた自身が書いた方がいいのです。

この講義では、地域に関わる記事をワークショップ形式でみんなで書いてみる「ウィキペディアタウン」というイベントを取り上げ、ウィキペディアを通して地域に関わっていく実践について考えたいと思います。これは同時に、紙ではない（だから分量の制限がない）オンラインの百科事典に固有の可能性について考えることでもあります。千代田区でのウィキペディアタウンの実践例をもとに、百科事典の未来を一緒に考えてみましょう。

講師：谷島 貫太 准教授
(本学文学部)

講師紹介

東京大学大学院学際情報学府博士課程単位取得満期退学。専門は、技術哲学・メディア論。ゼミ生主催でウィキペディアタウンを開催するなど、ウィキペディアを積極的に教育活動に取り入れている。主な著書に『記録と記憶のメディア論』がある。



大使館に見る千代田区の今昔(いま・むかし)
～ ベルギー大使館の変遷とともに

講師：西川 雅子 特任教授
(本学国際政治経済学部)

講師紹介

テンプル大学院教育学修士(英語教授法)。ベルギーの語学専門学校でオランダ語科、フランス語(初級)科を卒業。実務翻訳(和訳)〔独仏アフリカンス語〕・逐次通訳〔日英蘭語〕の活動の一方、大学では英語教育を担当。在日ベルギー大使館で開かれた記者会見では、ベルギー王国フィリップ皇太子殿下(当時・現国王)の通訳を務めた。

千代田区にはたくさんの大使館が存在しますが、その理由は江戸時代、特に幕末からの歴史的・地理的・政治的背景に見ることができます。幕末から明治になり、江戸時代の旗本の江戸屋敷などを大使館に転用した例などもあるため、大使館は江戸城(皇居)周辺に集中しています。また、同じ地域にまとまった形で大使館があると、警備がしやすい、という理由もあるようです。

本学周辺には、インド大使館、英国大使館、チュニジア大使館、イスラエル大使館、ポルトガル大使館、ベルギー大使館などがありますが、今回は、特にベルギー大使館に関するお話を中心に、大使館と日本(そして千代田区)の歴史的かかわりについて、考察を進めていきたいと考えています。

ベルギー大使館がいつ、どのように千代田区にやってきたのか、区の、ひいては日本の国の時代的変遷、発展と共にどのように変貌を遂げてきたのかを展望する時間を、皆様と共に過ごせれば、と思っています。

受講のご案内

対象：千代田区在住・在勤・在学者及び、テーマに関心がある方

受講料： 無料

申込方法： 申込フォームからお申し込みください。
QRコードまたは次のURLからお申し込みいただけます。
<https://forms.gle/rgay9koPVx23Goyw8>

申込期間：～2024年1月23日(火) 13:00まで

受講方法：お申し込み後、自動送信される受付メール記載のURLから受講ください。



◎対面で開催した公開講座と同じ内容です。

2023年8月25日に開催した公開講座を、ご要望に応えWEB配信いたします。